

教科名	数学		学年	2	教科書 補助教材 等	数研出版 数学B 数研出版 クリアー数学Ⅱ+B
科目名	数学B		単位数	2		
科目担当者	飯島、梅川、河内、川村、木村、益子					
科目の到達目標	ベクトル、数列について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考
一 学 期	4	平面上のベクトル ベクトルの演算	ベクトルについて、加法、減法、実数倍を考察することができる。計算の仕組みを理解している。家庭学習		5	
	5	ベクトルの成分 ベクトルの内積	成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。内積の性質を理解し、計算に利用できる。家庭学習		8	
	6	位置ベクトル ベクトルと図形	ベクトルで表された等式を、位置ベクトルを用いて証明できる。図形の性質をベクトルで扱うことができる。		8	
	7	ベクトル方程式	直線や円、円の接線のベクトル方程式を理解している。		3	
二 学 期	9	空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積	成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。ベクトルの内積を計算できる。		8	
	10	位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。内積を利用して、空間の図形の性質を証明できる。		8	
	11	等差数列とその和 等比数列とその和 和の記号Σ	等差数列、等比数列の公差、公比、一般項などを理解している。和の記号Σの意味を理解する。		8	
	12	階差数列 いろいろな数列の和	階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。		4	
三 学 期	1	漸化式と数列	漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。		6	
	2	数学的帰納法	数学的帰納法を用いて、等式を証明できる。		8	
	3	期末考査	1年間のまとめ		4	
年間授業 時間数計	70	1学期 24		2学期 28	3学期 18	
学習上の留意点	各内容において興味関心を引き出し、考える態度を養い、基本的な事柄を理解させるようにする。					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。					定期考査・課題テスト ・平常点等
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。					
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。					
知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。					